

(臨床研究に関する公開情報)

公立陶生病院では、下記の臨床研究を実施しております。この研究の計画、研究の方法についてお知りになりたい場合、この研究に検体やカルテ情報を利用することをご了解できない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

[研究課題名]

UIP パターン間質性肺疾患における自己免疫学的特徴の臨床的意義の検討

[当院研究責任者]

呼吸器・アレルギー疾患内科 片岡 健介

[研究の背景]

間質性肺疾患(ILD)の中でも、通常型間質性肺炎(UIP)パターンを呈する症例には、特発性肺線維症(IPF)だけでなく、膠原病の基準は満たさないものの自己免疫学的な特徴を有する一群が存在します。このような症例は、予後や治療反応が異なる可能性があります、十分に解明されていません。

[研究の目的]

当院で経気管支凍結肺生検(TBLC)を受けた患者さんのうち、画像検査でUIPパターンを呈した方を対象に、自己免疫学的な特徴の有無が病気の経過(予後、急性増悪の頻度、肺機能の変化、治療反応)にどのように関係するかを調べることを目的としています。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

間質性肺疾患の患者さんで、2015年から2025年間に当院で経気管支肌生検(TBLC)を受け、画像検査(HRCT)でUIPまたはprobable UIPパターンを呈した方

●研究期間

倫理委員会承認日から2029年3月31日まで

●利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、喫煙歴、身体所見、検査結果(血液検査【自己抗体を含む】、画像検査、肺機能検査)、経気管支肌生検の病理結果、多職種討論(MDD)の診断結果、治療内容、転帰(死亡・急性増悪発生の有無)

●利用する情報の管理

情報は、当院のみで利用します。

[研究組織]

この研究は、当院のみで実施されます。

[個人情報の取扱い]

研究に利用する情報には個人情報が含まれますが、利用する場合には、お名前、住所など、個人を直ちに判別できるような情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。情報は、当院の研究責任者が責任をもって適切に管理いたします。

[問い合わせ先]

公立陶生病院

呼吸器・アレルギー疾患内科部長 片岡健介

電話 0561-82-5101